

第17回	意外と知らない塗装		平成21年 2月 23日 (月)	
	進行役	木原 陽(㈱日本設計)	特別講師	AGCコーテック㈱

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	<p>外壁の塗り替えを、フッ素樹脂塗装とする場合に、既設塗装との相性をご教示ください。(剥脱のおそれ部分の処理をした後)</p> <p><input type="checkbox"/> 水洗いで汚れを落とせばよいもの</p> <p><input type="checkbox"/> 既設は全てケレン等で落とすもの</p> <p><input type="checkbox"/> カチオン樹脂フィラー処理でよいもの</p>	<p>プライマーの品種は異なってきますが、</p> <p>■ウレタン、シリコン、アクリル系(一般外部用塗料)は可。</p> <p>■金属下地の場合のカイナー・ルミフロン系フッ素塗料、ウレタン系・塩化ゴム系は可。但し、意匠性が制約される場合があります。既存塗膜の不良率が</p> <p>■20%以内は劣化部除去</p> <p>■20%～は全面除去の対象を目安としています。</p> <p>劣化度測定は、付着力試験・目視判定等を実施します。</p>
2	<p>着色したものは高価と、聞き及びますが、耐候性の点では、どの程度良くなりますか。又御社実績の建物があればご紹介ください。</p>	<p>期待耐用年数は、</p> <p>■フッ素樹脂塗料15～20年</p> <p>■シリコン系は10～12年</p> <p>■ウレタン系は8～10年</p> <p>■アクリル系は5～7年</p>
3	<p>塗装係数表なるものは、ご存じと思いますが、糸幅物(巾木・笠木・手摺等)の単価設定はどの様に考えていますか。ご教示ください。</p>	<p>W、Hによりますが、1.2～1.5倍あたりでの設定が妥当と考えています。</p>
4	<p>公共建築工事共通仕様書ではVPは使われなくなっていますが、それに置き換わる塗装はなんですか。図面によってはまだVPが使われていますが、刊行誌に単価がありません。</p>	<p>■合成樹脂調合塗料</p> <p>■非水分散形エマルジョン塗料になります。</p>
5	<p>フッ素樹脂塗装は、かなり高価な塗料ですが最近多く使われています。メリット、デメリット及び高価な理由をご指示ください。</p>	<p>【特長】</p> <p>■耐候性、耐紫外線性、耐塩害性に優れている。</p> <p>■塗り替えサイクルを長くしたい施設・建物(公共施設等)立地環境に悪い建物に適している。</p> <p>■イニシャルコストは高いが、LCC(ライフサイクルコスト)の観点からコスト的に優れている。</p> <p>■25年経過して大分安くなりました。(高価な理由)</p> <p>■フッ素樹脂がまだ高い。</p> <p>■耐候性に優れた高級顔料を選択しています。</p> <p>■工法として、下塗・中塗においても諸性能に優れた材料を選択しています。</p>
6	<p>フッ素樹脂塗装を刊行物で値入する場合、注意点をご指示ください。やはり見積をとった方がよろしいですか。</p>	<p>商品のバリエーションが増えていきますし、施工部位などによって、単価が変わります。その為にお見積りを取られることをお勧めします。</p>
7	<p>スチール手摺等の塗装単価は手摺、支柱手摺子等の部材長さによる単価構成と考えると宜しいですか。</p>	<p>結構です。</p>
8	<p>手摺壁天端の塗装はW〇〇のm計上としてほしいとの要望が多いのですが、実際に分けるのが妥当ですか。他に区分すべき特別な部位はありますか。</p>	<p>分けていただくと単価が入れやすくなります。</p>
9	<p>軽量溝形鋼の塗装は実際どこまで塗っているのでしょうか。</p>	<p>見え掛りは全面塗装します。</p>

番号	質問事項	回答及び補足事項
10	SOPとマリンペイントの違い及び単価差を教えてください。又、マリンペイントはどういった所に多用されますか。	SOPは合成樹脂調合ペイントで木部・金属部に使用される油性塗料です。その高機能品がマリンペイントです。用途は同じです。
11	塩ビの樋に塗装してもすぐはがれてしまうと聞いていますが、実際はいかがでしょうか。	弱溶剤系ウレタン樹脂塗料が適当と考えます。弱溶剤型フッ素樹脂塗料の直接塗りも可能です。
12	外部の鉄骨下地が垂鉛メッキのままの場合がありますが、仕上塗装をしてもはがれてしまうからなのでしょうか。	塗装仕様があります。問題ありません。
13	外部の塗装は立地条件にも大きく左右されると思いますが、塗替の目安は何年ぐらいなのでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ■フッ素系は20年 ■シリコン系は10年 ■ウレタン系は8年 ■アクリル系は6年 あたりが一般的ですが、環境によって変わります。尚、時期決定の際は劣化状況の判定調査が必要です。
14	焼付塗装はどのくらいの部材、大きさまで施工可能なのでしょうか。	6,000×2,000 その他塗装設備により異なります。
15	NAD塗料について、SOPと異なる点は硬化時間や耐水性、耐アルカリに優れている事以外に利点や欠点等ありましたら教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ■SOP……鉄部、木部が中心です。 ■NAD……セメント系、ボードが中心です。 NADのほうが高い。
16	撥水材は分類としては塗装工事ですか。	JASS18塗装工事には該当していませんが、塗装工事です。
17	壁、天井等の部位によって単価は違いますか。	原則は同じです。
18	手摺、タラップ等の塗装はどの様に計上するのがよいですか。	一般的には表面積のm2数でだします。実測する場合は、手摺は糸尺等を用いて数量を割り出すとより実数に近い数量が出ます。
19	塗装下の寒冷沙は全面にあるものですか。	ありますが、一般的には部分で施工です。寒冷紗張りであれば全面です。ジョイント処理はしません。
20	補修工事の塗装下地はどのような処理を行いますか。	塗り替え工事の場合、 <ul style="list-style-type: none"> ■下地の欠陥・欠損補修(欠け、クラック等) ■水洗い ■ケレン ■表層研磨 は必須としています。改修工事仕様書に依る。
21	数年前にVP塗装が標準仕様書から外されましたが、改修工事などで塩ビ製縦樋を再塗装する際、VPIに代わる塗料として適切なものはどの塗料でしょうか。	弱溶剤系ウレタン樹脂塗料が適当と考えます。弱溶剤型フッ素樹脂塗料の直接塗りも可能です。